

2013 年度 事業報告書

1 柔道の国際的普及、振興に関する事業		事業成果																						
ア 柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業																								
内容	東海大学の協力を得て世界の柔道発展途上国へ柔道用具（リサイクル柔道衣・畳他）の送付を行ない、日本の心を伝える。	<p>① リサイクル柔道衣</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>タンザニア</td><td style="text-align: right;">200 着</td></tr> <tr><td>ボツワナ</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>コートジボアール</td><td style="text-align: right;">100 着</td></tr> <tr><td>ラオス</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>キューバ</td><td style="text-align: right;">100 着</td></tr> <tr><td>ペルー</td><td style="text-align: right;">50 着</td></tr> <tr><td>マリ共和国</td><td style="text-align: right;">100 着</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">計</td><td style="text-align: right;">650 着</td></tr> </table> <p>② リサイクル畳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>マリ共和国</td><td style="text-align: right;">78 畳</td></tr> <tr><td>タンザニア</td><td style="text-align: right;">91 畳</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">計</td><td style="text-align: right;">169 畳</td></tr> </table>	タンザニア	200 着	ボツワナ	50 着	コートジボアール	100 着	ラオス	50 着	キューバ	100 着	ペルー	50 着	マリ共和国	100 着	計	650 着	マリ共和国	78 畳	タンザニア	91 畳	計	169 畳
タンザニア	200 着																							
ボツワナ	50 着																							
コートジボアール	100 着																							
ラオス	50 着																							
キューバ	100 着																							
ペルー	50 着																							
マリ共和国	100 着																							
計	650 着																							
マリ共和国	78 畳																							
タンザニア	91 畳																							
計	169 畳																							
イ 柔道文献の翻訳事業																								
内容	2013 年度は実施しない。 ※小説「姿三四郎」の英訳作業は当面見合わせる。	事業なし																						
ウ 教材制作事業																								
内容	日本語版「柔道教則本」作成 ※継続事業として	<p>① 日本語版「柔道教則本」作成継続中</p> <p>② 教材DVD「山下泰裕攻めの柔道」を製作した</p>																						
エ 外国からの指導者・選手受入支援事業（中国・ロシア以外の諸外国からの受入れ）																								
内容	外務省や国際交流基金、東海大学、望星学塾（松前柔道塾）等と協力して外国人指導者を受け入れる。 ① イスラエル・パレスティナ指導者の受入れ ② その他、要請に応じて	① イスラエルのコーチ1名を2012年11月19日から12月20日まで、本NPO法人企画運営したコーチング研修プログラムに参加した。パレスティナのコーチは怪我のため本年度の参加はなかった。																						
オ 外国への指導者派遣事業																								
外務省や国際交流基金、東海大学等からの協力を得て柔道指導者（学生ボランティア含む）を海外へ派遣する。																								
1) 一般指導者派遣【中国・ロシア以外への指導者派遣】																								
内容	① アメリカ・アナポリス海軍士官学校へ派遣（TOMODACHI 作戦返礼事業） ② イスラエル・パレスティナへの派遣 ③ その他、要請に応じて	<p>① 2013年4月22日～5月4日まで塚田真希さんを米国海軍士官学校へ派遣した。</p> <p>② 2014年1月30日～2月7日までイスラエル・パレスティナへ東海大学武道学科教授、本法人コーチ光本健次先生を派遣した。</p>																						
2) 学生ボランティア派遣																								
内容	① 中国青島市・南京市及びアジア諸国への派遣 ② ミャンマー ③ その他、要請に応じて	<p>① 2014年3月、東海大学体育学部武道学科生、平井亮輔君・富沢裕一君を南京友好柔道館へ派遣した。</p> <p>② 実施なし</p>																						
カ 会報誌の発行																								

内容	柔道の国際的普及活動を会員や一般市民に広報するための会報誌を発行する。	① 会報誌 14号は2013年9月発行 ② 会報誌 15号は2014年3月発行
キ 講演会事業		
内容	本法人の目的にそった内容の講演会を開催する。	① 2013年12月6日、「柔道とけが」と題し外務省と共催して講演会を開催した。講師は： 1) フランス柔道連盟副会長 ミッシェル・ブルース博士 2) イギリス(株)柔道スペース代表 マイク・カレン博士
ク 柔道の国際的普及・振興に関する調査事業費		
内容	2013年度は計画なし。	なし
ケ 国際柔道研究者会 (IAJR) 支援事業		
内容	リオデジャネイロ世界選手権研究発表会支援	2013年6月、IAJR会長、マイク・カレン氏の来日中、今後のIAJRの動向について意見交換をした。
2 柔道を通じての文化交流、異文化理解の推進事業		事業成果
ア 中国・日中友好支援事業		
内容	日中青島友好柔道館支援・日中南京友好柔道館支援事業など中国の柔道普及に係る支援をする。 ① コーチの短期研修事業 ② 南京友好柔道館より強化選手受け入れ ③ 青島友好柔道館より宮城県豊里町で開催の山下旗柔道大会に参加	① 実施せず ② 2013年6月23日～7月4日まで、日中友好南京柔道館から、江蘇省チームが来日し、東海大学柔道部で強化合宿をした。 ③ 2013年7月4日～9日まで日中友好青島柔道館の小学生チームが来日し、宮城県豊里町で開催された第35回山下旗柔道大会に出場した。
イ 日露友好支援事業		
内容	① 継続事業でロシア女子コーチ2名の受入れをし、柔道の指導法や日本語の習得を支援する。	① 1) 2012年12月5日～2013年5月27日までエカテリーナ・ブラウステバコーチを受入した。 2) 2012年12月5日～2013年6月14日までエレナ・コーチを受入した。
ウ 海外柔道普及支援事業		
内容	中国・ロシア以外の柔道普及にかかわる支援をする。 ① ゲンデン氏、国際審判員受験支援	① 2013年7月23日～29日まで、タイのバンコクで開催された、IJF国際審判員試験受験支援をした。 ② ラトビアのコーチ1名を2012年11月19日から12月20日まで、本NPO法人企画運営したコーチング研修プログラムに参加した。
エ 留学生柔道体験		
内容	東海大学留学生などを対象とした柔道教室を開催する。	① 2013年6月26日、東海大学に留学中のイギリス、ドイツ、ロシアなどからの学生に柔道教室を行った。 ② 2013年12月8日、東海大学に留学中のイギリス、ドイツ、ロシアなどからの学生に柔道教室を行った。
3 柔道による青少年育成事業		事業成果
ア 柔道教室(国内外)		
内容	東海大学望星学塾等と少年少女柔道教室を共催する。	① 2013年7月21日～8月8日 International Goodwill Week (松前柔道塾国際親善週間) 留学

	<ul style="list-style-type: none"> ① 2013年夏 International Goodwill Week (松前柔道塾国際親善週間) 留学生研修プログラムを共催する。 ② 宮城県山下旗柔道大会を共催する。(2013年7月8日) ③ 塾友杯柔道大会を共催する。(2013年12月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> 生研修プログラムを共催した。 ② 宮城県山下旗柔道大会を共催した。(2013年7月8日) ③ 塾友杯柔道大会を共催した。(2013年12月1日) ④ 第5回中郡柔道研修大会を共催した。(2013年12月8日)
イ 柔道シンポジウム (講演会活動を含む)		
内容	「暴力の根絶」パネルディスカッションを開催する。	<p>2013年7月14日、柔道界における暴力根絶にむけてパネルディスカッションを行った。</p> <p>演壇者は</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 友添秀則氏 早稲田大学教授 2) 菊 幸一氏 筑波大学教授 3) 山下泰裕氏 本法人理事長 4) 宮嶋泰子氏 TV朝日 (コーディネーター)
ウ 指導者養成研修会		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 武道必修化にあたり、研修会時に使用する資料作成費用 ② 「暴力根絶」プロジェクトを支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2013年度の事業は行わなかった。 ② 「暴力の根絶」プロジェクトの意見交換及びパネルディスカッション事前打ち合わせを行った
エ 国際中・高生柔道大会支援		
内容	福島復興支援柔道大会を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ① 2014年2月7日～14日まで、モンゴルナショナルチームに所属している男子高校生チームが復興支援全国高等学校柔道錬成三春大会に参加、その支援を行った。